

緊急特集

能登半島地震被災地へ 可搬式浄水装置を派遣



令和6年1月1日16時頃発生した能登半島地震により、尊い命が失われ、今もなお厳しい生活をおくられている被災地の皆様に、深い哀悼の意を表しますとともに、心からお見舞い申し上げます。水資源機構は被災地への給水支援のため、保有する「可搬式浄水装置」を石川県珠洲市に派遣し、断水が続く珠洲市の方々に欠かせない水を毎日お届けしています。

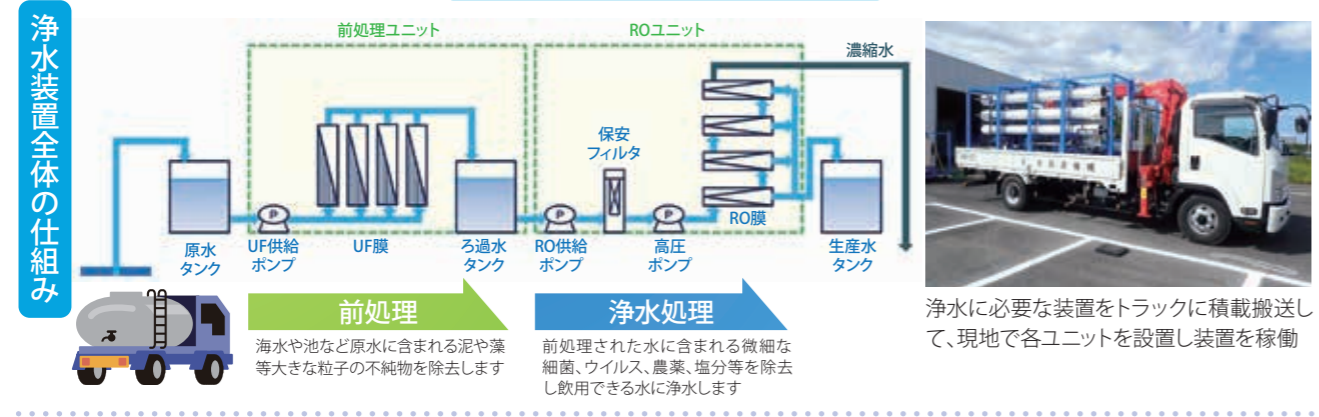


緊急応急時の給水支援 可搬式浄水装置

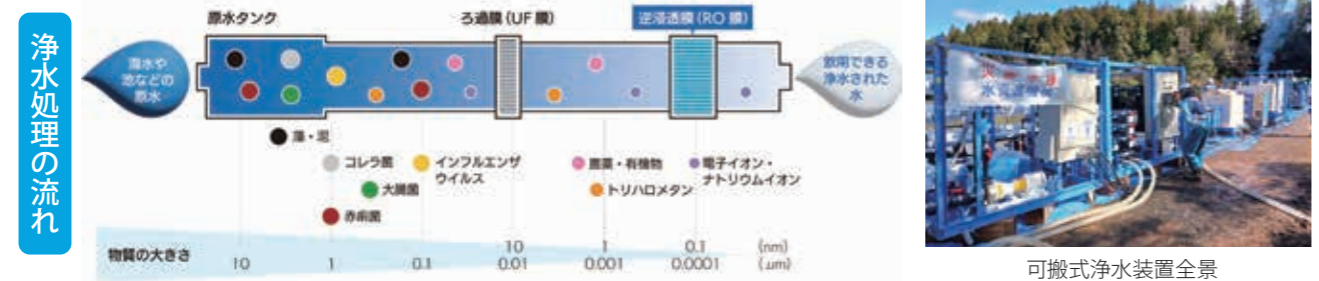
異常な渇水、洪水がもたらす水害、大規模な地震等により水供給が被災した際に備え、被災地へ緊急応急的に給水支援できるよう、ため池の水や海水でも飲用水として浄水できる「可搬式浄水装置」を保有しており、平成23年3月の東日本大震災以降、各地で支援活動を行っています。

可搬式浄水装置の仕組み

(注) 下図は、前処理で限外ろ過膜(UF膜)を使用したものです



浄水に必要な装置をトラックに積載搬送して、現地で各ユニットを設置し装置を稼働



可搬式浄水装置全景

可搬式浄水装置の設置場所



設置までの経緯

- 1月5日 緊急災害支援隊を編成し、利根導水総合事業所(埼玉県行田市)、愛知用水総合管理所(愛知県東郷町)に配置する浄水装置(計2台)を被災地に向けて出発、7日夕方設置場所(珠洲市)到着
- 1月8日 珠洲市内亀ヶ谷池の堰堤に浄水装置を設置
- 1月9日 自衛隊、国が派遣する給水車両に生活用水を給水開始し、珠洲市総合病院、避難所のお風呂で利用
- 1月12日 水道法に基づく水質検査を完了し、飲用水給水開始(以降、支援活動継続中)



亀ヶ谷池の水(左)を浄水(右)

支援活動について詳しくはホームページをご覧ください。



区分	1号機	2号機
保管場所	愛知用水総合管理所(愛知県東郷町)	利根導水総合事業所(埼玉県行田市)
処理能力	約2,000リットル/1時間	約2,000リットル/1時間
処理方式	二段式逆浸透膜方式(前処理:砂ろ過)	一段式逆浸透膜方式(前処理:UF膜)
運搬方式	8tユニック車 3台	8tユニック車 2台



設置された浄水装置(1月9日から給水開始)



浄水装置設置作業(1月7日~8日)



設置場所到着(1月7日夕方)